

2024年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社日新
代表者名 代表取締役社長 筒井 雅洋
(コード番号 9066 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部長 栗原 智信
(TEL. 03-3238-6555)

第7次中期経営計画「Nissin Next 7th」フェーズ2計画策定 及び数値目標修正に関するお知らせ

当社は、第7次中期経営計画「Nissin Next 7th」において経営計画期間をフェーズ1(2022年4月～2024年3月)とフェーズ2(2024年4月～2027年3月)の二つの期間に定めております。

本年4月のフェーズ2開始にあたり、2024年5月9日開催の取締役会において経営計画の策定及び数値目標の修正について決議しましたのでお知らせいたします。

I. Nissin Next 7th 基本方針

サプライチェーン ロジスティクス プロバイダーとして、新領域事業への挑戦とコア事業の深耕化を図るとともに、ESG 経営に取り組む。

II. Nissin Next 7th フェーズ2 経営計画期間

フェーズ2: 2024年4月～2027年3月(3年間)

III. 財務目標(連結)の修正

	フェーズ2	
	2027年3月期(目標)	2027年3月期(目標)
	当初	修正
売上高	2,750億円	<u>2,200億円</u>
営業利益	110億円	110億円
経常利益	115億円	115億円
当期純利益	86億円	<u>98億円</u>
自己資本利益率(ROE)	9.0%程度	<u>10.0%程度</u>

(修正理由)

当社グループでは2022年4月に開始した第7次中期経営計画をフェーズ1、フェーズ2に分け、フェーズ1では各種施策の取り組みにより事業基盤・経営基盤の強化、資本効率の向上を推進してまいりました。

財務目標の売上高につきましては、これまでの進捗状況を踏まえ、一方、利益面ではコスト削減や業務効率化の取り組みを引続き推進、また政策保有株式の縮減を進めることなどから、それぞれ修正することといたしました。また、自己資本利益率(ROE)目標につきましても、収益性の向上や株主還元充実等、資本効率の向上により10.0%程度に修正することといたしました。

IV. フェーズ2 重点施策

フェーズ1(2022年4月～2024年3月)は次世代に適応する事業基盤・経営基盤の強化期間と位置づけ、以下の重点施策に取り組んでまいりました。

- ・事業ポートフォリオ戦略の推進
- ・DXの推進
- ・新領域事業の創出
- ・ESG経営の推進

フェーズ2においてもこれらの重点施策を継続することとし、フェーズ1で構築した事業基盤・経営基盤を活用して、産業構造の変化に合わせた新たな施策の推進により収益力向上を図ります。

V. 資本政策

(1) 株主還元方針

安定配当の継続を基本に、下限配当として、株主資本配当率(DOE)2.0%以上の設定と2026年度までに100億円程度の自己株式を取得することとしておりましたが、より一層の株主還元の充実の観点から以下の通りといたします。

- ・配当指標

(現在)

DOE : 2.0%以上(下限配当)

(変更後)

DOE : 4.0%以上を目安

- ・自己株式取得

(現在)

株価動向等を総合的に勘案し、2026年度までに 100億円程度の自己株式の取得

(変更後)

2023年度取得済み約 20億円に加え、2024年度に更に 140億円程度の自己株式の取得

・自己株式の消却

保有する自己株式の上限を発行済株式総数の 5%を目安とし、これを超える部分につきましては原則として毎期消却いたします。

(2) 政策保有株式の縮減

(現在)

2026 年度までに政策保有株式約 50億円の縮減

(変更後)

2023 年度縮減済み約 80億円に加え、2026 年度までに更に政策保有株式約 120億円を縮減予定です。売却資金は成長投資及び株主還元を活用いたします。

VI. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、第7次中期経営計画において成長投資と新規事業拡大、資本効率向上への取り組みを推進しております。資本政策に関しましては上記の通り変更し、また本日開示いたしました、「社員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度」の導入により、株主の皆様と当社社員の一層の価値共有を進め、当社の企業価値の持続的な向上を目指してまいります。

第7次中期経営計画「Nissin Next 7th」フェーズ2の詳細につきましては、2024年5月24日開催の決算説明会にて説明後、当社ホームページに掲載予定です。

以上